

# 人文学部文化学科 カリキュラムマップ

\*主な科目のみ記載しています。

1年生	
前期	後期

2年生	
前期	後期

3年生	
前期	後期

4年生	
前期	後期

地域から考える文化と社会	文化学研究総論
--------------	---------

専門セミナー（コース別科目）
----------------

基礎科目
哲学概論／倫理学概論／歴史学概論／考古学・文化財学概論／日本語学概論／日本文学概論／中国語学概論／中国文学概論 生涯学習概論／図書館・情報学概論／言語科学概論／イギリス文学概論／アメリカ文学概論／ドイツ語学概論／ドイツ語圏文学概論 フランス文学概論／表象文化論／文芸批評論／人文地理学概論／自然地理学概論／社会学概論／文化人類学基礎

<p>共通教育科目 (社会科学・人文科学・自然科学に関する科目や、語学科目など)</p>
--

所属コースの決定	発展科目	
	文化資源学コース	比較思想／日本思想特論／東洋思想特論／西洋哲学特論／科学史・科学論／日本史特論／日本考古学特論／忍者の歴史／東洋史特論／美術史／美術理論／日本語学特論 日本文学特論／中国語学特論／中国文学特論／学術情報論／情報サービス論／専門中国語（会話）／専門中国語（作文）
	国際言語文化学コース	言語科学論／イギリスの文学／アメリカの文学／ドイツ語圏の言語／ドイツ語圏の文学／フランスの言語／フランスの文学／専門英語中級、上級（会話） 専門英語中級、上級（作文）／専門ドイツ語（会話）／専門ドイツ語（作文）／専門フランス語（会話）
	社会・文化行動学コース	地域環境論／社会空間論／自然環境論／日本地誌／外国地誌／社会学特論／社会文化論／文化人類学特論／民族誌
	演習	
文化資源学コース	卒業指導教員の決定	日本思想演習／東洋思想演習／西洋哲学演習 科学史・科学論演習／日本史演習／日本史総合演習 日本考古学実技演習／日本考古学演習／忍者学演習 東洋史演習／西洋史演習／美術理論・美術史演習 日本語学演習／日本文学演習／中国語学演習／中国文学演習 学術情報論演習／情報サービス演習
国際言語文化学コース		言語科学演習／英語学演習／イギリス文学演習 アメリカ文学演習／ドイツ語学演習／ドイツ語圏文学演習 フランス語学演習／フランス文学演習
社会・文化行動学コース		人文地理学演習／地域環境論演習 社会空間論演習／自然環境論演習／社会学演習 社会学研究演習／文化人類学演習／社会人類学演習
		卒業研究

## 人文学部文化学科 カリキュラムの到達目標およびディプロマポリシーとの関係

### ディプロマポリシー (DP)

1. 人文科学の諸分野の専門的知識と豊かな教養および感性を身につけている。
2. 現代社会・地域社会について、専門的知識に基づいて論理的に考え、総合的に判断できる。
3. 人文科学諸分野の成果に基づき、世界各地域の固有の文化に関して、広い視野から探求できる。
4. 現代社会・地域社会に対する理解を基盤として、国際感覚に基づいて主体的に行動できる。
5. 自ら学んだ知を、口頭表現や文章表現によつて的確に発信することができる。
6. 国際社会と地域社会の一員という自覚をもち、その発展に貢献できる。

分野	到達目標	ディプロマポリシー					
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
地域から考える文化と社会	学生は地域固有の文化や地域の抱える社会的諸問題について具体例を挙げることができる。 学生は専門科目を学ぶ上での問題意識を持つことができる。	◎					
文化学研究総論	学生は課題について学習した方法で調査することができる。 学生は課題について説得力のあるまとめができる。	◎					
専門セミナー	学生は特定の分野に関する諸概念・諸理論を説明することができる。 学生は特定の分野を研究するうえで必要な基本的な方法を述べるることができる。	◎	○	○		◎	
基礎科目	学生は特定の分野に関してその学問の特質の基本を説明することができる。	◎	○	○			
発展科目	学生は特定の分野に関する学問の特質について、基礎科目で習得した知識をさらに発展させて説明することができる。	◎	○	○		○	
演習	学生は研究テーマを自分で発見することができる。 学生は研究を進めるうえで必要な技術を利用できる。	◎	○	○	○	◎	○
卒業研究	学生は自ら選んだ研究テーマを当該分野の研究方法を用いて分析することができる。 学生は分析した事象を卒業論文としてまとめることができる。	◎	○	◎	○	◎	○